

ソフト事業

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

1 基本項目	事務事業名	魚津市民バス運行事業			担当 部署	課名	商工観光課		
	予算事業名	魚津市民バス運行事業				係名	市街地活性化室		
	事業区分	自治事務				電話番号	0765-23-1380		
	事業期間	開始年度	平成18年度	終了年度	当面継続	予 算 科 目	会計	一般会計	
	総合 計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち				款	2. 総務費	
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実				項	1. 総務管理費	
		施策名	20 総合交通体系の整備				目	10. 交通対策費	
	基本事業名	20-2 市民バス体系の強化			市民協働の状況		協働している		

2 事業概要	事業概要	市民の日常生活に必要な交通手段の確保を図り、市民の福祉を増進するとともに、魚津市に訪れる方々の利便性を確保し、地域活性化を図ることを目的として、魚津市民バスを運行しています。 ◇路線 市街地巡回ルート（東・西回り）…毎日（双方向）運行（12/31～1/3連休）・1日各8便 郊外ルート（6ルート）…月～土運行（日曜・祝日・12/31～1/3連休）・1日各10～12便 ◇運賃 全ルート共通 1人1乗車100円（未就学児無料）〔回数券11枚綴り1,000円・1日乗車券300円あり〕	
	対象	魚津市民や魚津市を訪れる人	
	手段 (活動指標)	運行及び安全運行に必要な運行管理を行うとともに、利便性向上などの利用促進策、持続的な運行を行うための運行体制の在り方に関する協議を行う。	
意 (成果指標)	高齢者を中心とした交通弱者の移動手段を確保することで、市内の回遊性が向上するとともに、地域間交流が促進し、地域の活性化、市街地の賑わいが創出する。併せて、道路交通の円滑化・交通安全、地球温暖化防止等環境保全、健康増進などを図る。		

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動 指標	① 市民バス運行委託料（市街地巡回ルート）	円	15,395,100	16,390,379	19,881,000	13,815,974	69.5%	14,380,000
	② 市民バス運行委託料（郊外6ルート）	円	34,606,000	33,155,992	35,237,000	31,092,944	88.2%	35,400,000
	③							
成果 指標	① 市民バス利用者数（全ルート）	人	191,800	197,890	197,500	201,080	101.8%	203,000
	② 市民バス運賃収入（全ルート）	人	16,970,000	17,364,855	17,480,000	17,433,655	99.7%	18,000,000
	③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出 内訳	①需用費	円	3,065,235	2,925,726	2,574,620	1,400,908	-52.1%	2,650,000
	②委託料	円	52,455,000	50,221,741	55,352,380	45,189,800	-10.0%	52,000,000
	③工事請負費	円			25,000,000	0		25,000,000
	④負担金補助及び交付金	円	661,665	362,000	1,000,000	819,000	126.2%	1,000,000
	⑤その他	円	109,959,100	65,929,606	37,280,400	36,818,846	-44.2%	955,000
	支出合計(A)	円	166,141,000	119,439,073	121,207,400	84,228,554	-29.5%	81,605,000
財源 内訳	①国庫支出金	円	6,007,000	39,169,000	39,800,000	27,042,000	-31.0%	18,317,000
	②県支出金	円	12,732,000	6,199,000	6,716,000	5,411,000	-12.7%	5,748,000
	③地方債	円						0
	④その他(使用料、雑入等)	円	17,794,000	17,976,855	17,794,000	18,067,655	0.5%	18,087,000
	⑤一般財源	円	129,608,000	56,094,218	56,897,400	33,707,899	-39.9%	39,453,000
	収入合計	円	166,141,000	119,439,073	121,207,400	84,228,554	-29.5%	81,605,000
人件 費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	1,500	1,500	1,500	1,500	0.0%	1,500
	③人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	6,300,000	6,300,000	6,300,000	6,300,000	0.0%	6,300,000
総 費 用(A+B)	円	172,441,000	125,739,073	127,507,400	90,528,554	-28.0%	87,905,000	

5 取 組 内 容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	◇バスロケーションシステム（上野方・経田一道下ルート）及びバス運行ディスプレイシステム導入 ◇松倉・中島・天神・経田一道下ルートでのバス車両更新+音声案内機器導入 ◇市民バスを利用した市内まちなか巡りの実施 ◇市街地巡回ルートの夕方1便の増便実験運行（通勤・通学者対策） ◇郊外ルート（一部）の富山労災病院への乗り入れ ◇市民バス運行管理体制の将来方針の策定 ほか	

6 評 価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内 容		
					1	2	3
妥 当 性	妥当性		A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
有 効 性	有効性		A	目標達成度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
				類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
				上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
効 率 性	効率性		B	コスト効率	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
				実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
				負担割合の適正化	<input type="checkbox"/> 1 適正である	<input checked="" type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
1次評価 (課長総括)			A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	評価結果 (課題及び今後の方針)	市民バス事業は、平成18年度より市街地巡回ルート（東回り・西回り）・郊外6ルートの7系統8路線で運行することとなった。平成23年度より、実験運行事業等による利用者の増加対策を講じながら運行しているが、さらなる利用者増加策はもとより、郊外ルートの運行业務の移管や全市的なバックアップ体制の構築などによる安心安全なバス運行を目指し、効率的かつ持続可能なバス運行ができるような様々な方策を講じていく必要がある。			評価結果		

ソフト事業

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

1 基本項目	事務事業名	地域活性化バス等運行事業			担当部署	課名	商工観光課		
	予算事業名	地域活性化バス等運行事業				係名	市街地活性化室		
	事業区分	自治事務				電話番号	0765-23-1380		
	事業期間	開始年度	平成2年度	終了年度		当面継続	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち			予算科目	款	2. 総務費	
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実				項	1. 総務管理費	
施策名		20 総合交通体系の整備			目		10. 交通対策費		
	基本事業名	20-2 市民バス体系の強化			市民協働の状況	協働している			

2 事業概要	事業概要	片貝地域における児童、生徒や高齢者等交通弱者の移動手段を確保するため、片貝地区内においてコミュニティバスを運行している。（平成2年から実施していた松倉地区スクールバスは平成18年度に市民バス事業へ移管される。） また、魚津IC周辺の交通空白地域へ実験運行している上野方ルートへの延伸における満車時の追走車両の確保を行う。
	対象	片貝地域住民及び市民バス上野方ルート上の住民の方々等
	手段（活動指標）	片貝コミュニティバスの運行に対して支援するとともに、上野方ルートの満車時に乗客の移動手段の確保のためにタクシーによる追走を行う。
	意図（成果指標）	片貝地区および魚津IC周辺の交通空白地域の高齢者・児童・生徒などの移動制約者の交通手段を確保する。

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 片貝コミュニティバス運行委託料	円	4,420,000	4,294,440	4,420,000	4,328,766	97.9%	4,600,000
	② 交通空白地域等対応のためのタクシーによる満車対応（上野方）	回	10	7	10	10	100.0%	10
	③							
成果指標	① 片貝コミュニティバス利用者数	人	26,000	23,281	26,000	21,635	83.2%	21,500
	② 交通空白地域（魚津IC周辺）における利用者数	人	5,400	1,935	2,000	2,746	137.3%	2,100
	③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円	350,000	98,372	350,000	159,451	62.1%	100,000
	②委託料	円	5,420,000	4,315,010	5,060,000	4,328,766	0.3%	4,600,000
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円						
	⑤その他	円	630,000	54,600	83,000	64,200	17.6%	
	支出合計(A)	円	6,400,000	4,467,982	5,493,000	4,552,417	1.9%	4,700,000
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円	467,000					
	③地方債	円						
	④その他（使用料、雑入等）	円	912,000	429,444	436,000	432,877	0.8%	460,000
	⑤一般財源	円	5,021,000	4,038,538	5,057,000	4,119,540	2.0%	4,240,000
収入合計	円	6,400,000	4,467,982	5,493,000	4,552,417	1.9%	4,700,000	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	300	300	300	300	0.0%	300
	③人件費（②×@ 4,200円）(B)	円	1,260,000	1,260,000	1,260,000	1,260,000	0.0%	1,260,000
総費用(A+B)	円	7,660,000	5,727,982	6,753,000	5,812,417	1.5%	5,960,000	

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>◇片貝コミバスの運行管理、バス・車庫の維持管理業務の委託</p> <p>◇交通空白地域への実験運行中の上野方ルート満車時の追走車両の確保</p> <p>◇将来における片貝コミバスの在り方検討（市民バス・民間バス含めた体制見直し）</p>	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
					1	2	3
	妥当性		C	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 1 妥当である	<input checked="" type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 1 妥当である	<input checked="" type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
	有効性		B	目標達成度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
				類似事業の有無	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input checked="" type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
効率性		C	上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い	
			コスト効率	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い	
			実施主体の適正化	<input type="checkbox"/> 1 適正である	<input checked="" type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない	
	1次評価（課長総括）		C	事業の進め方・内容について見直しが必要	2次評価	不要	
	後の評価（課題及び方針）	過去の経緯や住民感情もあり、また、小学校の再編計画と併せてしっかりと計画を立ててから見直しを進める必要がある。			評価結果		